臺灣日日新報
本日四頁
編輯兼發行人 佐々木 晃
發行所 臺北市榮町四丁目卅番地 臺灣日日新報社

詔書を渙發し給ふ
紀元節の佳き日に

【東京十一日發同盟】紀元二千六百年輝やく二月十一日式年の紀元節を迎へて一億国民齊しく万邦無比この皇恩に感激し全国一齊に奉祝の赤誠を捧げて佳節を祝ひ奉つた、畏くも　天皇陛下におかせられては聖職下に迎へるこの佳き日を記念し給ふ詔書を渙發あらせられ全国民にその向ふ所を明示遊ばされた

詔書

朕惟フニ神武天皇惟神ノ大道ニ遵ヒ一系無窮ノ寳祚ヲ繼ギ萬世不易ノ丕基ヲ定メ以テ天業ヲ經綸シタマヘリ歷朝相承ケ上仁愛ノ化ヲ以テ下ニ及ボシ下忠厚ノ俗ヲ以テ上ニ奉ジ君民一體以テ朕ガ世ニ逮ビ茲ニ紀元二千六百年ヲ迎フ今ヤ非常ノ世局ニ際シ斯ノ紀元ノ佳節ニ當ル爾臣民宜シク思ヲ神武天皇ノ創業ニ騁セ皇圖ノ宏遠ニシテ皇謨ノ雄深ナルヲ念ヒ和衷戮力益々國體ノ精華ヲ發揮シ以テ時艱ノ克服ヲ致シ以テ國威ノ昂揚ニ勗メ祖宗ノ神靈ニ對ヘンコトヲ期スベシ

御名御璽

昭和十五年二月十一日

各國務大臣副署

聖旨に副ひ奉るべし
大詔を拜して内閣告諭

【東京十一日發同盟】紀元二千六百年の佳節に方り畏くも渙發下国民の向ふべき所を明示あらせられた優渥なる大詔を拜し政府は十一日正午米内首相の名を以て左の如き内閣告諭を發した

告諭

紀元二千六百年紀元の佳節に方り優渥なる詔書を渙發せられ、臣民翼賛の道を明示し給へり、眞に恐懼感激に堪へず、恭しく惟ふに神武天皇惟神の大道に則ひ一系無窮の寳祚を繼ぎ萬世不易の丕基を定め以て天業を經綸し給ひてより皇統連綿茲に二千六百年、歷朝君民相率ゐ克く忠孝を效し、皇恩國の基を樹立せしむる所なり、皇恩が幾多の國難を克服して以て今日に及び、國史の成跡を以て宇内に比類なく、誰か生を神州に享けたるの光榮に感激し挺身以て臣節を盡し國家の興隆國威の宣揚に勉めざらん、今や帝國は東亞新秩序建設の偉業に邁進しつつあり、皇軍勇戰以來既に二年有半、外出征將兵の勇戰奮鬪と內銃後國民の奉公赤誠とに依り着々戰果を收め東亞の安定、日支の提携將に其緒に就かんとす、然りと雖も國際情勢複雜を極むるの秋に當り帝國進展の理想達成の爲には前途に幾多難關の存することを覺悟せざるべからず、この秋に當り我が國民は一に聖旨に恪遵し、一億一心和衷戮力各々其の業務に精勵し愈々克く國家の興隆を致さしめ皇國の隆昌を期し重ねて以て國家の興隆に盡瘁し以て聖旨に副ひ奉ることを期せざるべからず、是れ皆天壤無窮の皇運を扶翼し奉る臣民輔翼の大義にして又以て我等の祖先の遺風を顯彰する所以なり、本日畏くも大詔を拜す、全國民須らく決意を新にし同心協力以て聖旨に副ひ奉るべし

昭和十五年二月十一日

內閣總理大臣　米內光政

恩赦の詔書渙發
減刑、復權の勅令公布

【東京十一日發同盟】紀元二千六百年奉祝の佳節に方り恩赦の詔書を渙發あらせられ、同時に減刑並に復權に關する左の勅令公布せらる

詔書

朕紀元二千六百年ニ當リ皇祖ノ遺烈ヲ紹キ皇考ノ遺業ヲ承ケ益々國運ノ盛ナルヲ祈リ有司ニ命ジテ恩赦ノ事ヲ行ハシム百僚衆庶其レ克ク朕ガ意ヲ體セヨ

御名御璽

昭和十五年二月十一日

各國務大臣副署

勅令

朕減刑令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十五年二月十一日

各國務大臣副署

勅令

朕復權令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十五年二月十一日

各國務大臣副署

陸軍では懲罰免除

【東京十一日發同盟】二千六百年の紀元の佳節に當り陸軍では恩赦の聖旨を體し陸軍懲罰令に依り懲罰処分を受けたものに對し懲罰免除の恩典に浴せしめることとなり十日畑陸相より上奏御裁可を仰ぎ十一日の官報號外を以て軍令陸第四號として公示した、この恩典に浴するものは陸軍懲罰令に依つて本年二月十一日前に重謹慎、謹慎、譴責、減俸、降等、重、輕營倉等の懲罰処分を受けた現役軍人兵籍中の者、陸軍所属の學校生徒等の懲罰處分を受けたもので其の執行中のもの、又は執行を猶豫されたもの、その終り若くは免除されたもの、その執行中のものに對しては將來その懲罰が免除され、未だ處分を受けてないものは懲罰が行はれないことになつてゐる、但し懲罰に基く既成の效果はこの恩典に依つて變更されない

臺灣神社で紀元節大祭
小林幣帛供進使參向

臺灣神社における皇紀二千六百年の紀元節大祭は十一日午前八時半から執行され牛島軍司令官はじめ軍官民二百名參列裡に小林總督は幣帛供進使として中村秘書官、立川宛官長隨へ參向し盛に執行された、先づ奏案奉獻に開扉、獻饌、田村宮司の祝詞の後に次いで供進使小林總督は幣帛を奉奠して恭しく祝詞を奏上して玉串奉奠、次いで牛島軍司令官、文官總代宇賀野局長、供進使として參向し、また台北宮司神社でも木原市尹供進使幣帛供進使として參向し、二見祭務局長幣帛より祭典執行、一同九時四十分祭式を終つた、建功神社でも同じく八時半して奏樂、再び奏樂裡に撤饌、閉扉の後あつて九時四十分祭式を終つた
（寫眞は臺灣神社にて）

事變處理に邁進
二千六百年紀元節を迎へて
西尾派遣軍總司令官談

【南京十日發同盟】支那派遣軍總司令官西尾壽造大將は皇紀二千六百年の紀元節を大陸に迎へ次の如く語つた
燕々たる御稜威の下に聖戰第四年東亞建設への一段階を進めて茲に紀元二千六百年の紀元節を大陸の戰野に迎へ寔に感激を禁じがたいものがある、支那事變の解決の慶祝をなして東亞の天地に黎明を迎へんとしてゐるが我が大理想實現の爲にはなほ幾多の難關の重疊しあるを思はしむる今日、直参一入深き紀元の佳節を迎ふるに當りさらに堅忍不拔の精神を以て抗日殘存勢力の徹底的粉碎と事變處理に邁進すべき決意を深むると同時に逼迫せる國際情勢に對處し建國の大精神に基く皇軍本來の使命を果さんことを期するものである

安藤指揮官談

【廣東十一日發同盟】南支派遣軍最高指揮官安藤利吉中將は紀元節に方り左の所感を發表した
茲に聖壽下四度の春、光輝ある二千六百年紀元の佳節を迎へ大內山の翠一際濃く、畏くも皇軍將兵の勇戰に感激を拜謝しては其の戰鬪また一入深きものがある、思へば南支方面においては、この度戰果を以て遂に皇紀二千六百年の元旦を山嶽重疊たる稜威の下に迎へ戰果を收めたが、今また紀元の佳節に於て皇軍は南寧方面作戰に敵の大軍を殲滅して到るところなく、世界戰史に稀たる一頁を飾り、畏くも參謀總長宮殿下より御賞詞を賜はるの光榮に浴したるは一に御稜威の致すところであり、陸海空軍の加護、從軍將兵の力戰奮鬪並に銃後國民の眞摯なる後援の賜物と深く感謝する次第である、今や新支那の建設はその緒に就きたりと雖も四百餘州はなほ混沌たるものあり、吾等は皇國の隆昌を期し…

賓陽武鳴間に敵屍累々たり

【○○基地十日發同盟】わが南支陸軍荒鷲部隊は十日午前○○基地を出發、賓陽、武鳴方面を偵察し、更に同州郊外で数日の敗走支那兵を發見これを一擧に撲殺粉碎したが、同日の偵察によれば賓陽、武鳴兩市郊外及びその中間高地には累々たる支那兵の遺棄死體で埋められ、生存せる支那軍は一兵すら認め得ず、その凄惨な風の後の昇けさには曾つての乃木將軍の「山川草木轉荒涼」を髣髴せしめるものがあつた

地方税制改正法律案を提出
衆議院へ

【東京十一日發同盟】稅制改革の一環をなす地方稅制改正の關係法律案八件は十日の院內閣議に附議決定し同日衆議院に提出した、今回の改正は地方負擔の均衡と地方財政の基礎確立を目標としたものである

山下汽船十六年振りに臺灣航路復活

【神戶十一日發同盟】山下汽船は商船との契約滿期となつたので十六年振りに台灣航路を復活し、商船に代つて濁糖の積取り（運賃は同盟協定率）に從事することになつた、就航船は山彌丸、西光丸、鳥島丸の三隻である

佛內閣を信任

【ニユーヨーク十日發特約電報】フランス下院は十日ダラディエ戰時內閣の信任を滿場一致可決した

ソ聯に瑞典抗議
國內で共產黨彈壓

【ニユーヨーク十日發特約電報】ストツクホルムからの報道に依ればスエーデン政府は同國砕氷船ヴルゴ號がソ聯軍用機の爲め擊沈された事件に關し十日ソ聯政府に嚴重な抗議を提出した、スエーデン船がソ聯機の爲め擊沈されたのはこれで二回目であるが一方此の抗議提出と關聯しスエーデン政府は國內における共產黨の大彈壓を開始し、多數の黨員を逮捕、共產黨本部、新聞社關係に對し大掛りな檢索を行つた

貯蓄債券を賣出

【東京十一日發同盟】大藏省では紀元二千六百年を記念し新様式に依る第十六回支那事變貯蓄債券三千五百万円（額面五千二百五十万円）を二月五日より二十六日まで勸銀及び郵便局を通して賣出すことになつた、發行要綱左の如くであるが、今回のものは今回までのものに比しその第十回抽籤までの償還金は最終償還以外の償還には全部これを附すこととした
一、發行方法　割引の方法に依り賣出す
一、券面金額　十五円
一、賣出價格　十円
一、償還方法　十五年六月以降每年二回（六、十二月）抽籤償還は卅五年一月までに全部償還
一、割增金　償還の際の割增金は國債で交附することを得

我軍悠々劍を收め賓陽、武鳴より凱旋
賓陽九塘は蔣軍に返還

南支軍發表

【廣東十一日發同盟】去る一月下旬以來南寧東北方地區に蝟集せる支那軍に對して行はれた我が反擊作戰は敵に徹底的打擊を與へ多大の戰果を收めて終局に近づき、我軍は悠々劍を收めて賓陽、武鳴平地より撤退、南寧附近に集結して今後の支那軍の行動を監視すると共に更に次期作戰に對して應變を備へてゐるがこれに關し十一日午前十一時南支軍では左の如く發表を行ひ合せて報道部長談を發表した
南寧東方地區において好機を捉へて決行したる我が反擊作戰は輝かしき戰果を收めて終局に近づけり、即ち我軍は進擊戰において既に敵に大なる損害を與へ、賓陽及び武鳴平地において群る敵の大軍を撃破し、更に二重三重の包圍網を突破し、圏內に彷徨し賊出せんとする敵の大部を捕捉殲滅せり、今や我軍は所期の目的を達成し賓陽武鳴平地は固より四周に敵影を見ざるに至りしを以て悠々反轉し凱歌を奏して殘敵を掃蕩しつつ爾後の企圖の爲め態勢の整ひに就けり、今次作戰の目的は敵次發襲せる南寧の如く敵の要衝且つ大規模なる南寧攻略の企圖を根柢より排撃せしむるに存し、地點地域の占領擴大の如きは毫も意圖せず、茲に蔣軍三十餘個師を完膚なきまでに擊破せしを以て今次進擊の地域は何等の損害を加ふることなく、又更に小部隊を以て敗走蔣兵五十餘日の間敵を殲滅して以て今次作戰成功の勳績を得し、任務を果したる九塘附近を經て蔣軍に返還することとせり、賓陽及び九塘附近返還に關する通告次の如し

賓陽を返還

蔣軍にして我軍の眞意を解せず且つ反省することなく再び蠢動するにおいては我軍は臨時隨所にこの戰作戰を反復すべし、賓陽を返還す、賓陽は南寧侵同を企圖せる蔣軍に對し今次日本軍が決行したる反擊作戰において包圍圈の頂點となれる記念の地なり、我軍は完全にその目的を達成し凱還の途に就けり我軍は地點地域の占領擴大を欲せざるを以てこの地を蔣軍に返還す、厭くは蔣軍再び南寧に向ひ來攻せよ、同地において再戰を期す、今次作戰において戰死傷せる蔣軍幾万の將士に對し敬意を表す

大日本軍司令官

九塘も返還

今次作戰は我軍が纔に九塘附近に派遣したる一部に對し蔣軍が猶集來攻したるに端を發する、我軍はこの好機を捉へて反擊作戰を企圖し、その準備を終るまで約五旬この地に派遣したる我軍の數大隊は良く蔣軍の十餘個師と互ひに奮戰力鬪を續けせり、特にこの地にかける蔣軍は他方面にかけるものに比し未だ見ざる勇猛なる奮戰を爲せるに對しては敬意を表すると共に敵に於て全く比較にならざる少數の我軍が堅忍良く蔣軍の優勢を壓倒し威武を中外に宣揚したる戰功に對しては絶讃を惜まず、我軍はこの地の防守が蔣軍の企圖を完全に挫降するの目的を果したるを以て蔣軍に返還せんとす、終りに九塘附近に於て戰死傷せる日支兩軍將士の武勳を讚へその冥福を祈る

大日本軍司令官

大軍を以て來抗せよ
南支派遣軍報道部長談

【廣東十一日發同盟】南支派遣軍報道部長談（十一日午前十一時發表）
今次我が決行した南寧北方西作戰の目的は逐次增強した蔣軍の企圖を徹底的に捕捉殲滅して再度南寧の侵同企圖を根拠より挫折せしめるにあつた、既に我軍はその事を證明し南寧占領當時より一部の兵力を九塘方面に派遣しその守敵據點としたが、蔣軍は果してこれに對し頻繁攻擊し來り更に南側山嶽地帶より我が後方連絡線にも出沒するに至り、その上南寧奪回の宣傳攪亂でも行ふに至つた、これに對し隱忍好機の到來を待つてゐた我軍は去る一月二十八日から一齊に總攻擊に移り、その結果蔣軍三十餘個師に徹底的打擊を與へ蔣軍の企圖は完全に挫折するに至つた、然し我軍は固より地點地域の占領擴大の意圖は全くなく、南寧の如き敵補給線を遮斷するに必要なる地點は絶對に確保するがその外にあつては支那兵殲滅のため必要なる地域に進擊はするが都邑の占領は必要とせず又奪回してみないのである、我軍は賓陽武鳴平地は素より附近一帶に集結の敵を殲滅し全く敵影を認めず、この上駐兵の必要なきを以て山嶽地帶內の殘敵を掃蕩した、かく作戰の目的を完全に果した以上賓陽、九塘などの要衝そのものには何等の價值なく我軍はこれを惜んで蔣軍に返還するのである、返還に當つての蔣軍への通告は賓陽、九塘の市內數百箇所に揭示した如くであり、この際蔣軍に望む點は眞にその實力を知り徒らに抗戰、假裝的宣傳をやめて反省悔悟するか、又は迷夢醒めず抗戰を繼續し南寧奪回を企圖するにおいては正正堂々更に大軍を以て來抗せんことである

重慶、雲南間に又もや暗影
猶太人難民收容問題で

【南京十日發同盟】歐洲大戰の勃發と共に支那方面に殺到するユダヤ人難民の數は益々增加の傾向を示しつつあるがこれが處置問題を繞つて重慶政府と雲南省政府との關係に再び暗影を投ずるに至つた即ち最近の情報に依れば米國はユダヤ人をして西南支那開發に利用せんことを企圖し、最近重慶政府に對し今次歐洲大戰に依つて生じたユダヤ人難民を西南支部に收容するやう申込んだと云はれる、右申入れに對し重慶政府は米支國交緊密の建前より欣然受諾し、早速雲南省主席龍雲に對し取敢ず三千人のユダヤ難民を雲南省內に收容するやう慫慂した所、龍雲はこの虫のよい申入れに痛く憤激、早速拒絶する旨返電を寄せて來たため重慶側では兩者の板挾みとなり目下血眼になつてユダヤ人收容適地を物色してゐると云はれる

產金增加の爲め資金限度を擴大

【東京十一日發同盟】政府は金資金特別會計中產金の增加の爲に使用し得る資金限度を現行の五千万円から一擧四倍の二億円に擴大するとともにその使用範圍を擴大し金の集中に對しても使用し得ることとするもので右に伴ふ金資金特別會計法中改正法律案を十二日の閣議の承認を經て議會に提出することとなつた、なほ改正の結果金資金特別會計より明年度一般會計並に他の特別會計に繰入れらるべく豫定されてゐる金額は一般會計一千二百八万円、朝鮮特別會計二百七十五万二千円、南洋廳特別會計五万円、合計四千六十四万四千円である

米糠配給組合統制規則實施

【東京十一日發同盟】農林省では飼料問題解決策として「米糠配給統制規則」を十二日公布即日實施する、同規則によれば全國主要都市（差當り六大都市）の白米小賣商その他鑛山、工場などの大口米消費者は副産物たる米糠を家畜用、藥用とした以外は日本糠油工業組合員以外に販賣することが出來ない、而して採油後の米糠油粕は工業組合より飼料配給會社に一手に賣渡され飼料會社から各府縣別に割當てられる譯で、協定價格は白米商の店先相場生糠一俵九貫目入り三円二十錢である

郵船桑港線マニラ寄港

【東京十一日發同盟】郵船會社では新造優秀船新田丸が五月就航するのを機に香港、上海、日本、サンフランシスコの現サンフランシスコ航路を延長してマニラ寄航を復活し比島の貨客輸送を行ふ計畫を進めてゐる

けふの兩院

【東京十一日發同盟】十二日の兩院
貴族院 午前十時本會議を開き山陽康(研究)中野敬雄(交友)小倉正恒(研究)氏の順で質疑を續行する外、各委員會を開く
衆議院 本會議休み、午前十時豫算總會を開き三番周房（政友久）末松偕一郎(民政)小笠原三九郎(政友中)中島三之助(民政)氏の順で質疑を續行する外、午前十時から稅制改正委員會其他各委員會を開く

人事

▲須田一二三氏(新竹州警務部長)十二日上京
▲奧田達郎氏(臺中州知事)十二日出府
▲藤原良雄氏(旭電化工業常務取締役)▲江森盛彥氏(同工作課長)▲原田圓治氏(同學務課長)十一日來臺(日之丸館)
▲中澤亮治氏(元中研工業部長農博)十一日來臺(吾妻)
▲白勢黎吉氏(東海自動車運輸社長)市內幸町一二三五番地元原氏跡(電四、八〇七番)に卜居
▲天野敬男氏(鐵道部東京出張所長)十日新竹へ
▲粟屋清氏(帝國臟器取締役)十一日來北(鐵道ホテル)
▲小泉二郎氏(日本砂鐵工業所專務)十一日來臺內地へ
▲藤原良雄氏(旭電化常務取締役)▲江森盛彥氏(同工作課長)▲原田治氏(同営業課長)十一日來臺(日之丸館)
▲河田幸一郎氏(仙頭博愛會院長)十一日內地より歸臺(日之丸館)
▲澤奎熙氏(横濱高工教授)十一日來臺(日之丸館)

七分搗から
ウンと榮養を吸收せよ!

七分搗米に
白米以上の榮養價があるのは無論のことですが、胃腸や齒の弱い方や御病人などは、主食米變更のいま、充分の御注意を要します何よりも、よく嚙むことも肝要ですが、同時に強力な消化力をつけるミクローゼをお服みになることです。ミクローゼは、消化の役目を果すばかりでなく、七分搗米に含まれてゐる多量の榮養を殘らずあなたの血肉として吸收する「榮養吸收作用」までも勤めます。その上食慾を旺盛に、便通を正確にしますから、お弱い方には絶好の強生劑です。

酵母劑にまさる

今こそミクローゼの
能食
能便
能眠
能働
力を十二分に活用すべき時だ!

ミクローゼ

激流 (102)

久生十蘭 作　伊勢良夫 畫

(祭上演)

椿貞三 (八)

闇の方でもだん／＼乗り出してくるし、漢波もいつの間にか寄つて行つて、膝と膝が擦れ合ふほどになつてしまつた。

闇は、手を使つたり起ち上つたりして、その時の光景を眼に見えるやうに演じて見せながら、

「……意識だけは確かだと見えて、躍たままで電線を手繰りながら、何とかして火の中から逃げ出さうと焦つてゐる。もう足元に火がつきかけてゐるんですから、そのままにして置くと焼け死んでしまふ。こつちはどうでもいいから、せめて、あの人だけでも助けてやれと思つて、熱ッ、熱ッと言ひながら燃え上つてゐる街路樹の枝を飛び越えて、その人の傍へ寄つて行くと、うまいことに、すぐ傍に水道管から噴き出した水が池のやうに溜つてゐるところがありましたから、いきなりその人を水溜りの中へ押し轉がしてやりました。……夢中になつてやつてゐるうちに、僕はいつの間にか火の中から出てゐる。こいつは有難いと思つて、さつきの人の言葉を眞似て電線を手繰りながら、下抱りの本坑の入口まで辿り着きました」

漢波は、息苦しくなつて、じつと聴いてゐられなくなつた。

「……それで、その三人の方は助かつたんですか？先に、それを言つてちやうだい」

闇は、勿體ぶつたやうすで手で抑へて、

「まあ、お待ちなさい。いま、順に言ひますからね」

坐りかけてゐたのを、また起ち上つて、

「……それから、僕は、こんな恰好をして穴の中へ入つて行きますと、炤か薪々と通風坑を傳はつてきて、倒れてゐる三人のすぐそばの鉄脚へ吹きつけてゐる。……その上は、さつきも言つた五百十ミリの物凄な高壓瓦斯管なんです。それへ火がついたら、三人どころか、この辺の家は一軒も殘らずすッ飛んでしまふでせう」

さう言つて、無邪氣な顔でニヤリと笑つて、

「……人間の心の作用といふものは實に妙なもんですね。さういふ際どい時に、僕は、一體何をしてゐたと思ひます？……ふ、ふ、ふ僕はね、露西はどうなつたかしらと思つて、一生懸命に捜して歩いてみたんです。……實際、どうかしてゐる。僕がもう十分もそんな馬鹿なことをしてゐたら、僕なんか木ッ葉のやうにすッ飛んでゐたでせう。……アト氣がついて、その時は、さすがの僕もゾッと慄ひあがつてしまひました。こんなことをしてゐる場合ぢやないと思つて、また三人のところへ戻つて来て、一人を肩に担ぎましたが、考へて見ると、何しろ穴の出口までは遠いんですから、一人一人運び出してゐたんではとても間に合はない。高壓管にさへ火がつかなければいいわけなんだから、これはどうしたつて、火を防ぐ方が先だと思つて、その辺の坑木や枕木を出際目に積みあげ、その間を土で埋めて一生懸命に通風坑を塞ぎはじめました。……ところが、火の勢ひがひどいので、積むはしから火がついて燃え上る。どうしたつて枕木ぐらゐぢや追ひつかないんです。……悪いことには、枕木が燃え出したために、火は一層高壓管の方へ近くなつて、何とも慌いことになりました。……僕としては人事を盡したわけで、これ以上どうすることも出来ない。面倒臭くなつて、やるだけやつたんだ。もう勝手にしろと思つて、穴の底へ胡坐をかいて五分程甘てゐてやりました。……ところでね。僕はこれで相當な頑を持つてゐたわけなんです。實に馬鹿なことなんですが、ちよつと頭の體操をやつたばかりに、何もかもうまく行くことになつたんです。いつたい、どうしたと思ひます？」

漢波は、氣が氣でなかつた。

「焦らしては、いや」

闇は、得意さうにグッと顔を反らして、

「あなたも考へてごらんなさい。なんでもないことなんだから…」

新段階に入る日本戰時經濟

島田晉作

一

わが戰時經濟は、いまや重大な段階にさしかかつてゐる

それは、支那事變がながびいてゐるとか、物資の不足が目立つてきたとかいふ現象的な事柄を指すのではない、もつと本質的なものである

かう云へば、支那事變が終つたならば『戰時經濟』そのものがないではないかといふ反問があるかもしれない。しかし、日本の戰時經濟は、支那事變の處理が急速に成就されてもそれで終つたといふことにはならないのである。その理由は複雜であるし、ここでは詳細に說くことはできないけれども今次の事變經濟そのものが總戰と武力戰と建設戰の併行、別の言葉で云へば武裝の強化としてゐるといふことだけで大體諒承ができると思ふ

二

それでは、わが戰時經濟は、どういふ重大な段階にさしかかつてゐるのか、一言にして云へば、日本は、その大陸政策の遂行にあたつて、自力でやるか英米依存でやるか、それをハッキリきめねばならぬ段階に逼したといふことである。いかにも問題は簡單である。英米何ものぞや、日本は日本の力でやつていくと云へばそれまでである。だが、さう云ふ昔の中學生の雄辯會の演說では、事はすまないのである。自力でやるとすればそれだけの物質的基礎がなければならない。逆に、日本は自力ではやれない、結局大きなことはできない、何と云つても、英米經濟に依存せんけりやならないといふ考へ方乃至主張も、多くの場合は、單に現在の『事實』にこだはつてゐるだけで、そこに何等の創意も決意も政策も發見されないのである

そこに、いろ／＼なトンチンカンと、對立、摩擦とが生れてくるのである。尤も、その折衷的な意見として、かういふ考へ方もある——お前の考へ方は極端すぎる、日本の自力でやるか、英米依存でやるかといふ問題の立方そのものが間違つてゐる、自力でやるのを立て前にして英米の力を利用するといふ中間の道もあるではないか。まさにその通りである。しかし、この折衷的な意見は、いろ／＼な條件の下ではわたしも、賛成ではあるけれども、大概の場合は、すでに成心があつての主張である。つまりどうヂタバタしても英米に依存せんければ何事もできないといふ前提の下に、と云つて英米依存と云へばいかにも『軟弱』に聞える、だから日本の自力といふことを看板にしておいて、英米利用といふ手を打たう、かういふ心構へといふか心理といふか、さういふものが支配的なのである。そこで、この主張に、よほど吟味を要するのである

三

もしも可能ならば、日本の自力を主體として、英米にかぎらずあらゆる第三者の力を利用して『大陸政策』を遂行することが日本にとつて一番望ましい。結論的に云ふならば、恐らく一應はさういふ狀態になるであらうし、またさういふ狀態にまで導かねばならない。しかし、今日の段階は、ただ偶然とさう云ふ狀態がくるであらうと期待することはできない。いなそれどころかよそさういふ狀態と相反する狀態を招くかもしれないのである。といふのは、今日の國際關係は決してアマクないからである。歐洲動亂の勃發を考へれば、米國の態度が日本にとつて最も重要である。米國は、支那大陸における日本の行動の批判、或は彼女の對支政策について、どうしても一應の終止符を附さねばならぬ事情にある。それは必ずしも英國(そしてその追隨者としての佛)が歐洲動亂によつて極東から事實上手を引かねばならない狀態に陷り、アトのことは米國に頼んだ形になつてゐるためではない

門戶開放、機會均等を生命とする九ケ國條約の主案者兼推進力としての米國はこの九ケ國條約體制の『破壞者』たる日本に對して、そして汪氏を中心とする新中央政權樹立の段階において何等かの意思表示をせねば、引込みのつかない狀態にあるのである。しかも、この際にしておけば、日本は大陸において見事にゴール・インしてしまふのである。ゴール・インされたアトではお祭りが済んでしまふ。そればかりではない、もつと實質的な事情として、歐化の、歐洲動亂勃發後の米國は、假に日本と經濟的に絶交しても困らないと云へるものがあるのである。なるほど、棉花が日本に賣れなかつたり日本から生絲が來なかつたりすれば、棉花栽培業者や絹織物業者は困る。だが、それ以外の石油なり屑鐵なり機械なりをつくり、或は輸出するものは、日本市場を喪つても、英佛等からの註文殺到でちつとも困らない。これに反して日本は、棉花は印度や埃及から仰ぐにしても、生絲は米國以外大きな顧客はないし、また、石油、屑鐵、その他の資材や機械類或は機材等軍需や生産に必要なものを米國に仰ぐ以外一寸手がない、だから於て、目先の經濟的な考へ方からすれば、日本は米國に頭が上らないのである

四

以上のことはハッキリ知つて置かねばならない。しかしほんとうの問題は、それから後のことである。これが、日常性の問題ならば頭の上らないものには卷かれた方が有利である。が、日本の大陸政策といふものは、その具體的内容については必ずしも諸家の意見は同一しないしそのときどきの段階によつておのづと傾相がちがつてもくるが、東亞の盟主として、日滿支ブロックの指導力として、日本が今後益々大きなものを背負はねばならぬことは『運命的』であるとさへ云へるのである

端的に云へば、米國なり、英國なり、ともかくも第三國が日本のこの『運命的な使命』を認めて、したがつて日本の推進力指導力を認めて、その前提の下に、或はその限界において機會均等や門戶開放を註文してくるならばコトは至つて簡單で、和氣あいあいたる國際關係が少くとも極東に生れるのである

だが、現實はさやうに簡單ではない、英米は日本の指導力を認めたくない、腹のなかで認めてもせめて形式的には認めたくないのである。支那四億の民(實はもつと多いにちがひない)を包容する支那、天然資源の豐富な支那が、日本の勝手になるといふことは、彼等にとつてどうしても許し得ないところである。しかも前述のやうに日本に客觀的な『弱さ』がある、何定彼等が默つてゐようか

五

そこで、彼等はヂリヂリと攻めてくる。日本の内部でも、彼等の強さに眩惑されてゐるものは、自分の國のやり方をハラハラして見て、何とかして英米依存へのヨリを戻さうとする。反對に、強がり論者は英米何ものぞと肩を怒らして悲憤慷慨する。が、實のところこの堂々めぐりは、早くやめてもらひたいものである。これは國民全體の声だと思ふ

いまは、觀念的な物の云ひ方で濟む時代ではない。英米依存と云へば語弊があるが、英米の經濟力を利用して日本の大陸政策を遂行するといふ行き方は、日本が致命的な、本質的な『讓歩』をせざるかぎり不可能であることを認識せねばならぬ。ところが、この『讓歩』は絶對に不可能である。とすれば、日本は自力でその大陸政策を完遂せねばならぬ。少くともその覺悟と見透しですべてをやらねばならない。もちろん本質的な『讓歩』なしに若干でも英米、その他第三國の力を利用し活用しうれば幸である。が、まかりまちがへば、さういふものはないといふ計算でやらねばならない

さうだとすれば、日本戰時經濟は、その線に沿うて、再編成せねばならない。換言すれば日滿支の綜合經濟によつて万事を處理していく覺悟をきめその經濟をたてねばならない。そのためには、一應縮まる必要も出て來ようし、身を屈する必要も出て來よう。要は自らのほんとうの『實力』をハッキリ測定してそれに應じた經濟を築へることである

このことは、決して日本が後退するとか、消極的になるとか、退嬰的になるとかといふ意味ではない。第三者に依存せず自力でやつていくための『哀しき』言葉なのである。國民は、このことをハッキリ具體的に爲政者から聞かしてもらひたいのである。そこに眞の安心が生れ、ほんとうの勇氣が生れてくるのである

朝 【七・一〇】朝の挨拶、ラヂオ體操

【七・二〇】朝の修養(東京)　國體の理想と建國の精神(一)子爵岡部長景

【七・五〇】朝の音樂(レコード)　青きドナウ(ヨハン・シュトラウス作曲)維納フイルハーモニー管絃樂團、指揮ーフエリックス・ワインガルトナー

【八・〇〇】ニュース

【八・一〇】最近世界外交史講座(第三十五講)(臺北)世界大戰前に於ける近東問題(六)旺司方太郎

【九・四五】母の講座(臺北)　幼兒の言葉…阜川郎

【一〇・一五】家庭料理献立(臺北第一高等女學校教官石梓子案)一、國民讀 二、春菊の胡麻よごし 三、キャベッの甘酢漬(臺南のみ)臺南高等女學校教諭松川幸枝案

【一一・〇〇】肉　豚取引相場(臺北)日用品小賣値段、商況紹介事項(各局)

【一一・二〇】臨時官廳ニュース

晝 【一一・五九】正午の時報(東京)公示事項、局報、午後の放送番組發表

【〇・一〇】慰問演藝時間(レコード)浪花節　一、國定忠次(信州の巻)浪花家辰丸　一、男のまごころ…天光軒菊月

【〇・四〇】ニュース

【一・四〇】ラヂオ體操

【三・〇〇】ニュース

【三・三〇】商況ニュース

【五・五五】コドモのニュース(臺北)太平公學校六年高橋進

【六・〇〇】子供の時間(東京)　國史劇(子供のテキスト二十頁)金鵄の光(梅山正雄作)内山惠司他

【六・二〇】子供の新聞(東京)

【六・二五】講演(臺北)聖地より御神火を奉戴して伊原道三

【六・四五】島民歌謠(臺南)芽ぐむ大地(守田千冬作詞、富田嘉明作曲)祖道三浦とみ子

【六・五五】カレント・トピックス(東京)

夜 【七・〇〇】子供の時間(臺北のみ)童謠と童話劇(レコード)一、梅の節句…平山美代子、尾石まさ子　二、支那の馬…大村主子、小林茂子　三、日の出行進曲　四、出征兵士を送る歌…河村順子　五、童話劇ー竹さんの出征(金谷元王作)長靴童謠音樂劇

【七・〇〇】子供の時間(臺南のみ)建國童話ー神武天皇御東征

津川茂雄、合唱ー臺南女教合唱團、ピアノー淵野鏡

【七・〇〇】子供の時間(臺中のみ)童話ー意地惡狐…水原宏

【七・二〇】ニュース

【七・三〇】國民歌謠(東京)

【七・四〇】特輯講演(東京)紀元節奉祝特輯番組(第二夜)紀元二千六百年所感…陸軍大將鈴木孝雄

【八・〇〇】國謠(東京)御東征物語(二)(松村竹雄作)中村茂アナウンサー

【八・二〇】舞踊劇(東京)(東京市明治座より中繼)希望峰…清宮軍の天照皇ー大澤市次郎、篠原堅吾ー伊志井寬、同人妻ハマ子ー森穎子、綾部ー森薔子、外大勢

【九・一五】講談(東京)　傳説二時姿…小金井芦洲

【九・三九】九・四〇時報(東京)

【九・四一】ニュース解說(臺北)

【一〇・〇〇】國語ニュース

【一〇・二〇】録音ニュース、公示事項、局報、明日の放送番組(各局)

【一一・〇五】英語ニュース

【一一・二〇】北京語ニュース

【一一・三五】廣東語ニュース

【一一・五〇】馬來語ニュース

【〇・〇五】安南語ニュース

朝の修養 (東京 七・二〇)

子爵 岡部長景

△國體の理想と建國の精神(一)

氏は貴族院議員、國民精神總動員中央聯盟理事局局長

ここに光輝ある、神武天皇、國礎紀元二千六百年を迎へて、我々は我が國體の尊嚴について今更ながら、その認識を深める次第であつて、今日の日本は實に時代より貢したるものであることは世界にその比を見ざる尊き國家である。この皇國の大精神は眞に天地と共に無窮極まりない所であつて諸外國に於けるが如く力によつて興り力によつて亡ぶるが如き國家とは全然其の意義を異にする點である

商業登記公告　……(判讀困難な部分あり)

第貳回決算公告　昭和拾四年十二月三十一日現在　……西村商會

因大阪商船出帆(臺灣)　基隆出帆　神戶門司行　高千穗丸　……

因大連汽船出帆(基隆)　大連直行　山東丸　山西丸　二月十二日正午　……

回辰馬汽船出帆　辰和丸　辰春丸　辰興丸　綾葉丸　……

日本郵船出帆(基隆)　門司神戶行　大和丸　二月十四日　富士丸　二月十九日　香取丸　二月廿三日　榛名丸　二月廿二日

東亞海運出帆(基隆)　天津行　……　上海行　……　南支行　……

疫と咳に……　コフシロップ　COUGH SYRUP　效果本位

四月新學期開始　攻成科・高等科・普通科　速成科・裁斷科・家庭科　專攻　私立吉見裁縫學園　臺北市

茶代廢止　御一泊　金參圓より　御團體の節は特に御相談に應じます　山陽ホテル　屛東驛より約一丁　電話長九番

臺北市太平町一ノ九四　木村胃腸病醫院　電話二一四九番　木村謹吾

皮膚科　泌尿器科　性病科　三顧丸醫院　大和町二丁目一番地

小兒科　信生堂醫院　末廣町二丁目三　電話五五五番

父饒榮昌儀……

父浦田永太郎儀病氣療養中ノ處二月十一日午前七時十五分逝去仕候ニ付キ此段謹告仕候也　追而葬儀ハ二月十四日午後四時半西本願寺ニ於テ相營ミ可申候　二月十二日　臺北市御成町一丁目　男 浦田哲　男 浦田泰治　……

當社專務取締役浦田永太郎殿豫而病氣ノ處本月十一日逝去被致候間此段謹告仕候　昭和十五年二月十二日　臺灣畜產株式會社

當組合組合長浦田永太郎殿豫而病氣ノ處本月十一日逝去被致候間此段謹告仕候　昭和十五年二月十二日　保證責任大成建築信用購買組合

荊妻秀子儀高雄醫院に入院中の處二月十一日午前三時遂に死去致候に付此段謹告仕候也　昭和十五年二月十二日　……

父菊三郎儀病氣療養中ノ處本月十一日午後六時十分死去致候ニ付此段謹告仕候　……

會葬御禮　勝浦滿

一ケ年生產額四萬組　尖山便器同業組合

ユキガフッタ　グリコトカイタ

貧血　結核　治療豫防　胃腸　機能強化　錠劑　ネオ肝精　服み易い肝油精劑　肝臟配合　發明特許　藤澤友吉商店

ロより入り病を防ぎ精神を爽快にする！　衞生口錠　カオール　病氣豫防に！　健康保護に！　カオールの三大效用！　一、病菌を驅逐する　口中殺菌劑は口より侵入する諸種の病菌を驅逐して諸病を豫防する　二、健康を保持する　健胃劑は胃を健全にし消化をよくし、強壯劑と相俟つて肉體の强健を計る　三、潑剌たる心身を生む　興奮劑は各機能の活動力を旺んにし、清涼劑は口中の惡臭を去り精神を爽快にする　製劑顧問　ドクトル　松尾道　口中殺菌劑　本舖　東京市日本橋區本石町　株式會社安藤井筒堂藥品部

原料香水　大リデナル香水　世界の名香　三十八種を調合して出來たオリヂナル香水です　本舖　株式會社安藤井筒堂

聖戰下に輝く建國祭
臺灣神社へ參拜者の群は續く
卅五萬市民心から慶祝

皇祖肇く國原に宮居を定め給ひてより悠久ここに二千六百年、天地と共にきはまりなき皇運をたたへまつり愈々平として進展する國運を祝して歷史の榮に生きる我等一億同胞の胸に脈打つ、燦然 晴れの 建國祭は來た、十一日瑞氣さへみなぎると感ぜられる日本晴れの台北市は春にも似て市民の赤誠天に通じたものと知れた、この日この朝一人殘らず午前九時のサイレンを合圖に國民奉祝の時間としてうやうやしく東天を拜し、またひきつづき台灣神社へ、建功神社へ參拜して國運の隆昌を祈願し祖國に殉じた英靈の冥福を祈つて多難な國家の前途に處するの覺悟を固くした、神社への參拜は各社万餘を數へて賑つたが各官衙學校では夫々拜賀式を執行し"雲に聳ゆる高千穗"の紀元節歌は"紀元は二千六百年!"の頌歌は卅五万市民の 大合唱 となつて地に充ち天に轟いた、神社の紀元節大祭新公園での建國祭式典と行事相次で奉祝の誠意を捧げる市民は旗で街を埋めつくし奉祝の意氣は低空に爆音を轟かせ正午後陸鷲部隊の爆音は殷々春空に音波を揚げて奉祝氣分は最高潮に達した、隨いて午後からは武道大會、愛馬行進、夜は夜で建國の夕あり、其他各方面でも既報の通り數々の行事があつてちようど日曜日と重つた事でもあり押し出す市民は街に氾濫してつつましやかながらも非常な賑ひを呈し終日奉祝氣分は溢つた

督府で紀元節式

輝く皇紀二千六百年建國の佳節に當り總督府では十一日午前九時半より正廳に於て小林總督、一見長官以下諸員參列の上、紀元節式を執り行つた、尚市內各官衙、學校に於ても同樣式を擧行した

參列者は八萬餘名
新公園廣場の式典場

台北市の建國祭式典は晴れ渡つた大空のもと十一日午前十一時半より新公園廣場に於て擧行されたが小林總督、牛島軍司令官、一見長官代理、酒井海軍武官等參列、廣場には國旗や八紘一宇の標識入り長旗を押し立てた軍部をはじめ郷軍、防衛團、大日本婦人會、各官衙、學校、團體等八万人を以て埋めつくされ台北はじまつて以來はじめての大盛典となつた、國旗揭揚、國歌奉唱に次いで一同遥かに宮城を拜しうやうやしく東天を拜して皇大神宮、宮城、橿原神宮へ赤誠の祈りを捧げ戰歿將兵の英靈に感謝の默禱をなした、木原市尹謹みて建國の大詔を奉讀し式辭並に宣誓文を朗讀、それより紀元節歌及び紀元二千六百年頌歌を高唱し小林總督の發聲で大日本帝國萬歲を三唱し國旗奉納の後同正午終了散會したが式典中より○飛行機隊の爆音は轟音も高く會場上空を旋回していやが上にも奉祝氣分をそそつた、なほ參列の小公學校兒童は式後旗行列を行つて市內各街路を練つた

式を終へた近江時五郎氏を初め郷軍、防衛團、青年團、中小公學校、官衙、銀行會社、國婦、愛婦、一般市民無慮一万數千人參列の下に嚴肅に擧行された、定刻十一時開會の辭に式は初まり國旗揭揚、宮城遥拜、橿原神宮遥拜、皇軍の武運長久祈願戰歿將兵の英靈に對する默禱、國歌奉唱、市尹の式辭を終へて聖壽の無窮を寿ぎ奉つて万歲を三唱して式を閉ぢた

式辭と宣誓文

式辭 光輝ある二千六百年紀元の佳辰を迎へ茲に臺北三十二万市民相集り嚴肅なる奉祝式典を擧行し以て遠く皇祖肇國の鴻業を欽仰し奉り聖壽の無窮皇運の彌榮を奉祝し奉る、今次興亞の聖戰に參するや我が忠勇無比なる皇軍の威武は遠く支那四百餘州を制壓し空前の戰果を收む、然りと雖も八紘一宇の大理想を顯現すべき新東亞建設の聖業完成は長期に亘る國家總力の發揮に俟つものにしてこれ實に現代我等日本國民に課せられたる歷史的使命なり、我等は此の重大時局に於て一大勇猛心を振興し一億一心決死的努力を以て大業必成に邁進せざる可からず、此の秋に際し曠古の盛儀に會す我等國民の光榮感激何物か之に如かん、是に鑑みて皇威の宣揚を祈願し奉ると共に邁に皇軍將士の勞苦に感謝し愛國の赤誠を披瀝し以て聖旨に奉答せんことを誓ふ

宣誓 光輝ある紀元二千六百年の紀元節に當り謹みて皇祖皇宗の宏謨を欽仰し奉り愈々臣明の赤誠を致して万邦無比の國體を護り聖旨を奉戴し奉らむことを天地神明に誓ひ奉る

基隆

【基隆電話】聖紀の無窮を寿ぎ奉る紀元二千六百年の建國祭は十一日午前十一時からからりと晴れ渡つた日に市內高砂公園にて横山市尹、

馬五百頭堂々と
島都市内を行進

台北州畜産會主催の台北市にかける奉祝愛馬大行進は十一日午後零時半迄に北部隊、武德會馬術部、州團馬術部、大稻埕愛馬會、台灣學生馬術聯盟、台北少年乘馬練習所、台北州役馬利用組合所官民諸團體五百頭の馬が南門附近に集結し音樂隊を先頭に午後一時堂々行進を起し市內樞要街路を練つて市民の人參接待等美しい情景も展開されつつ午後五時建功神社前に到り終了した

本社で祝賀式

本社の紀元節祝賀式は十一日午後零時十五分から本社講堂で擧行された、河村社長以下全社員參集西田總務局長の開式の辭に次いで宮城遥拜國歌奉唱、河村社長の祝辭の後、大澤主筆の奏賀あり、續いて河村社長の發聲で大日本帝國の万歲を、長支配人の發聲で本社の万歲を夫々三唱して零時半閉式した

公會堂で建國の夕

十一日建國祭の夜を飾る市主催建國の夕は午後七時半より公會堂に於て開催されたが、會場は定刻前から溢るる盛況で國歌奉唱の後演技に入り各州市の三曲合奏、舞踊、吹奏樂とプログラムは進められニュース其他の映寫あつて万歲三唱裡に十時終了した

白熱戰展開
第四回武道大會

台北市の第四回建國祭武道大會は十一日午後一時より公會堂大集會室に於て武德會臺北支部と共に開催された、國歌奉唱、宮城遥拜、默禱、國歌奉唱あり後に演技に入つて山口教士の模範演技、劍道各部の試合が行はれ各團體、學校の紅白試合、劍道四段への五人拔と相次で白熱的試合を展開した、帝國劍道形、同柔道、杖術の形、一般部の紅白試合、勝士級の模範試合等が行はれて試合後に參加記念品授與、萬歲三唱後同六時終了したが時局下尚武の氣風振興によつて非常な盛會であつた

臺北州廳で表彰傳達式

台北州では十一日午前十時半より州會議室に於て教育表彰其他表彰の傳達式を執行したが、市でも同時刻に於て市役所第一會議室に於て國民精神總動員の表彰傳達式を執行した

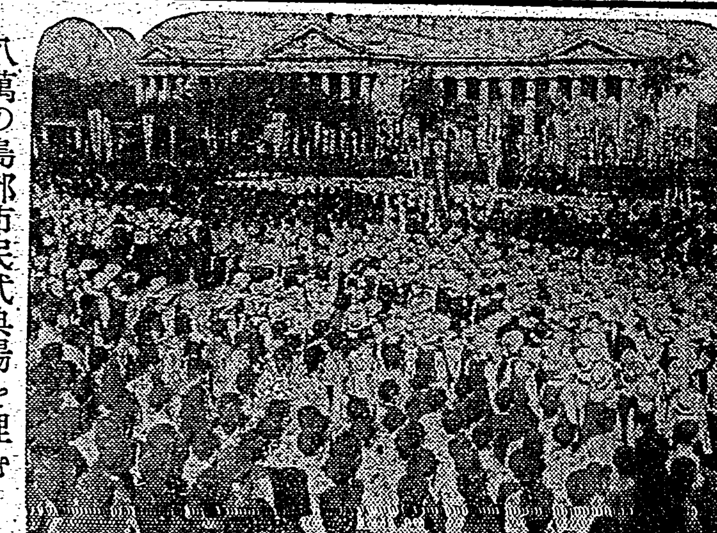
日本小學校、旭國民學校の拜賀式、同九時半より陸軍總督府官邸に於て拜賀式あり、各官衙でも遥拜式を終へた後、同十一時より日章旗一段と聳ゆる神社に參拜して軍官民の嚴肅なる建國祭は執行された、相集ふ赤子一万はこの佳き日に方り與亞の聖業を翼賛し奉る國民的覺悟を更に固く誓ひ奉つて万歲を奉唱して感激に燃えた

同胞一萬參集
厦門での建國祭

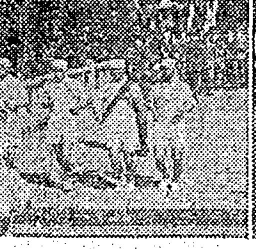
【厦門十一日發本社支局特電】聖戰下二千六百年の紀元節の佳節を迎へて厦門在留同胞一萬の赤誠は深く第一線厦門に於ても國民の誠を致し皇國の無窮を壽ぎ奉つた、この日夜來の雨に清められ清々しき厦門の光瀾は先づ午前八時四十分より始まる式典は十一日午前十時より執行の豫定である

佳き日をトして
厦門神社地鎮祭

【厦門十一日發本社支局特電】厦門在留同胞一万の赤誠の發現を竝めて建立されることになつた厦門神社地鎮祭は麗かに晴れた十一日遥かに大陸を望む虎頭山の神社敷地に於て嚴か貴簗岩美山の神社敷地に於て嚴かに執行はれた



八萬の島都市民式典場を埋む



御神火繼走隊出發 (上)奉仕團臺灣神社を出發 (中)河村本社長より奉仕團に御神火を渡す (下)右は東廻り班の臺北市役所前通過、左は西廻り班の建功神社出發

御神火奉納繼走隊
臺灣神社を出發
佳き日に莊嚴な擧式

六百万島民の待ちに待つた本社主催御神火奉納繼走は全台灣の若人を總動員して榮光燦と輝く二千六百年に感激一入深き紀元の佳節を選び十一日午前十時十分よりこの 豪壯 にして壓なるスタートが切られた御神火出發に先立つて午前十時より台灣神社の大前に於て紀元節大祭を執行した直後の社頭の莊嚴を更に御火に清めて莊嚴しき市にも嚴肅に執り行はれた

この日潔齋沐浴してみそぎした眞白のパンツに白のユニホーム、白足袋の凛とした光榮の東西廻り兩コースの奉仕青年團員、兩團は各指揮者に引率されて定刻前拜殿前に整列、本社社員、一般市民、郷會員等も所定の位置につく、やがて田村宮司は所役を随へ、 河村 本社長、島田台北州會青年團長參進、拜殿內所定の位置に着く、かくて正十時祝所役吉野主典は起つて嚴かに祝詞を奏上し、大麻を以て松明と諸員を祓ひ清め終つて東西兩奉仕團、幹團は櫻井台北市社會事業課長等の號令に依り一同神前に向つて柏手の音も高らかに二拜二拍手一拜の拜禮をなし、次で田村宮司は神前に進み大久保出仕の介添にて吉野、河古兩主典の 捧持 する松明に御神火を移し點火すれば無限不滅なる御光りを放ちつつ焰の色も鮮かに炎々と燃えさかる松明を河村本社長に渡し河村本社長はこれを受けて更に東廻り擇持者宮前青年團の張上雨介および西廻り擇持者本町青年團に中繼した

街に感激の聲沸く
島都市民が聲援送る

臺灣神社社頭を揚ぐる係官民、青年團員、本社員の万歲と歡呼に送られ午前十時十分、東廻り、西廻り共に晴なるスタートを切つた 御神火は 光榮と感謝の二重の喜びに歡喜の聲を高鳴らせた南コース奉仕團に擁持され、基隆、國威宣揚、武運長久と染抜いた二流ののぼりと日の丸の小旗を携行する兩團に擁護されつつ勅使街道をひた走りに走つて東廻りは市役所前で次の奉仕團に御神火を引繼ぎ更に次々と引繼がれて一路基隆街道を北進した、一方西廻りコースは州廳前で日新、西門聯合の青年團から榮町、本町、堀江、万華聯合の 青年團に 引繼れ西廻り第一組の指揮者高倉久治君(西門)の"御神火を御渡しします"と言へば次の指揮者中村政吉君は"確かに受繼ぎました"と答へ、直ちに驛前を經て鐵道ホテルを通過、建國祭の奉祝氣分横溢する市街に感激の嵐を呼びつつ博物館前を右折榮町通りに出で直ちに總督府前から東門町に出で沿道堵列する市民および各學校團體の歡呼と万歲とに送られ團の池上行雄君に授與し嚴かに激勵の辭を述べれば指揮者中村邦君は決意の色を滿面に浮べて力強く謹んで御神火を捧持しますと答へてここに神々しい出發式の式典を滯りなく終へた、同御神火 出發 の感激的光景を全島津々浦々に知らせるべく台北放送局ではマイクを台灣神社境內に移し田村アナウンサーの擔當で感激のこの狀況を放送しこれを全島に中繼した

植物園內 にある建功神社に到着、同神社では御神火を迎へて兒玉町、千歲町、佐久間町、龍口町、南門町各區會、本願會および一中、龍山寺、老松各公學校を始め附近市民多數參列の下に莊嚴な御神火奉迎式を執行、先づ奉迎の儀あつて指揮者中村政吉君は聲を張り上げて"謹みて皇運隆昌、國威宣揚と皇軍の武運長久を祈り奉る"と言し奉齋主佐藤社掌これを捧め受けられた聖火に移し擇持者は聖火を神前に捧げ

獻納の儀 を終り、次で佐藤社掌の祝詞奏上、青年團代表大澤主事、一般參列者代表渡邊一中校長の順に玉串奉奠の後奉齋の萬歲と二千六百年奉祝歌の歡呼と萬歲とに送られて新たなる御神火は一路十二時二十五分御神火は再び奉仕團に擁持されて出發、大稻埕青年の奉仕團指揮者山本國南へ南へと邁進しつつけた

繼走中の東西兩班
夜空に燦然たり
御神火新竹神社へ

【新竹電話】州界を越え木麻黃の並木を縫つてひた走りに走り續けた御神火は午後三時桃園街に到着、身も心も淸い奉仕團の人波に迎へられ會社小團民等の歡迎の人の波、旗の波を突切つて縱貫道路を南へ奉仕團から奉仕團へとリレーされて中壢、平鎭、楊梅、湖口を過ぎれば夕闇迫り全く夜となつたのは紅毛附近である、茲より南國の日の丸の小旗が振られつつ走る聖なる御神火は明に包まれつつ走る聖なる御神火が一段と光を加へ沿道各地官民は夜空をもいとはずこれを迎へ万歲万歲と歡呼の聲を送る、仰ぎ見れば西南に空高く五つの星座が一直線に並び御神火に敬意を表するかの如くきらびやかに瞬いて居る、紅毛海岸の汐風は木麻黃の梢を鳴らし靡くも如く御神火は何らの差障りもなく愈々燃え盛るばかりで奉仕の青年團は意氣愈よ昂り、午後八時過ぎ新竹市の手前頭前溪の人道橋を一氣に驅け渡り新竹市役所前で奉仕團から卅三竹山青年團員によつて新竹神社に到着したのは午後八時四十五分であつた

聖火基隆へ
港都市民も感激

【基隆電話】十一日午後一時四分七堵、基隆郡の境界、保長坑中繼點に待機の基隆郡友納、五堵、七堵各青年團は御神火奉納繼走して到着、東廻り御神火捧持の一役を買ひ、衛團に加はつて走る清々しい姿こそ今度の聖火リレーの眺めであらう、御神火が悠久なる御光りを放つて進むところ、雄壯な鉦鼓後行進曲が奏でられ、感激の旋風が起る、かくて御神火は豫定より少し遲れて二時四十五分台北、新竹兩州の境界坑、樂年院附近に到着、ここで新竹州下の第一奉仕團舊山青年團員に引繼がれ使命を果した台北州側奉仕團團員の万歲に送られて新竹州に入り一路南進をつづけた

分、七堵庄役場前に於て同郡境界に見送られて進發、基隆郡下の縱貫道路を一路進行し、同一時四十分、暖暖南青年團がここで嚴かに受繼いで進發、同二時八堵橋北端に到着、いよいよここで基隆郡警察署長部長を始め基隆市民多數の奉迎を受け、いよいよ基隆市へ入る直前暖暖青年團から基隆市青年團へ受繼ぎを濟ませ、基隆署の誘導にて沿道を驛前通りから一路基隆神社へ向つた、台灣神社まで堵列、奉迎の中女學校生徒、小公學校兒童、各種團體一般市民は旗を手にサイドカーを先頭に堂々市內に入り、沿道高砂公園前からずつと基隆神社に到着、直ちに御神火奉納の聖火の飾重なる歡迎に迎へられ、午後二時三十分、清々しい陽光に燦爛たる基隆神社に到着、直ちに御神火奉納祭の式典を執行、かくて諸民の中に日出度く御神火を奉納、聖火は燦然と點ぜられる中に祝詞、祝詞奏上あつて後主催者代表島本社支局長、青年團代表横山市尹、參列者代表近江時五郎氏の順にそれぞれ玉串を捧げて拜禮、感激のうちに神前を退下し、同三時盛儀を盛儀を閉ぢた、それより基隆青年團

一億一體となりて
國體の精華を顯揚
恩赦の大詔渙發に際し 小林總督の諭告

畏き邊りにおかせられては紀元二千六百年の紀元節と云ふ曠古の盛時に當り恩赦を治く國民の人々に頒たせ給ふ大御心から恩赦の大詔を渙發し給ひ、茲に本島官民も齊しく御恩澤に浴し得る事となり聖恩洵に畏き極みであるが右につき小林總督は十一日左の如く諭告を發し廣大無邊なる仁慈に應へ奉るべき所以を垂示する處があつた

謹みて惟みるに神武天皇橿原の宮に王化の淵源を定め給ひしより茲に二千六百年寶祚の隆昌に天壤と共に窮りなし生を皇國に享くる者誰か建國の洪謨を欽仰し肇國の聖徳を信受するものあらんや、畏くも今上天皇陛下には萬民に對し洵しく此の盛時に方り天下の臣民を愛撫し給ふ大御心の下愈々仁慈の恩澤を汎く天下に布き給ふ 聖上陛下には光輝ある紀元二千六百年を迎へ給ふ御聖代の下に畏くも宣せられ大赦の大詔を渙發あらせられた、この恩赦の大詔は本島官民の任の重且大なる事に言及ひを致すと謂ふべし、本島官民は宜しく聖代の恩澤に感激し億兆一心國運を作興し皇國の精華を中外に顯揚せざるべからず惟ふに本島官民互に協力一致、聖旨を奉體し無私の誠を致し時艱を克服し以て皇運扶翼の誠を致さむことを期すべし

昭和十五年二月十一日 臺灣總督 小林躋造

減刑恩典者四萬七千
復權者は十八萬に及ぶ

【東京十一日發同盟】天皇陛下におかせられては紀元二千六百年の佳節に方り恩赦の大詔を渙發あらせられたが、今回の恩赦は憲法發布五十年の際の恩赦よりも範圍が廣く司法省所管で減刑の恩典に浴するものは四万七千人(現在受刑者の約三分の一)及び執行猶豫中のものを含む復權の恩典に浴するものは十八万人の多きに上ると推定されて居る、同時に今回は二回目の事である、恩赦は昭和三年の大禮に際しての二十三年憲法發布五十年記念の際とに次ぎ大正天皇御大喪の際なども行はれたが今回はそれより一層廣範圍のものである

二百八十名出所の恩典に浴す

【東京十一日發同盟】恩赦の大詔渙發せられ、各刑務所からこの恩赦に浴して出所を許されたものは全國合計二百八十名で二・二六事件の元歩兵大尉香田清貞、同村中孝次の三元陸軍歩兵大尉安藤輝三の外二名は小菅刑務所から出所した

南洋群島に官幣大社
佳節に際し御裁可

【東京十一日發同盟】畏き邊りにおかせられては皇紀二千六百年紀元節を卜し天照大神を奉祀する南洋群島ペラオ諸島コロール島アルミズ高地に創建の南洋神社を南洋群島パラオ諸島コロール島に官幣大社に列せられる旨御裁可になつた、南洋神社は大正八年以來同地方多年の念願であつたが諸般の準備なつたので紀元の佳節に際し御裁可を仰いだものである

世界大戰の結果帝國の統治下に帰し以來各種産業振興し帝國の南方に對する經濟的文化的發展の前進據點として極めて重要なる地歩を占めるに至つたので國策各方面では南洋群島をして本島の中心となるべき神社の創建につき計畫を進めつつあつたが諸般の準備がなつたので紀元の佳節に際し御裁可を仰いだ

出船・入船

【基隆電話】朝船大和丸は十一日午後二時基隆岸壁に着いた、船客は工藤知郵便局長、中澤充治氏、潮海四工務長、牛尾官庁調査課長等であった

浦田永太郎氏

台灣合同電氣取締役浦田永太郎氏は發腦溢血にて台北市御成町一丁目の自宅で療養中であつたがその效なく十一日午前七時十五分逝去した、享年六十七、葬儀は十四日午後四時半から西本願寺で營まれる由

氏は兵庫縣の出身明治三十一年渡臺し以來土木建築請負業を營み又和泉舊鑛業所取締役のほか大成火災信用組合長であつた

トラックと衝突

十一日午後三時頃台北市役所土木課のトラック(運轉手神村某)が八甲町二ノ二の街路を南から北に向つて進行中同町二ノ一森武夫(二)は自轉車の運行に氣付かず突然左手路地から飛出して自動車に衝突し全治約一週間の擦過傷を負つた

郷軍臺北分會で記念大會

帝國在郷軍人會台北市聯合分會記念大會は十一日午前九時半より公會堂大集會室に於て擧行されたが郷軍支部長瀧永大佐をはじめ關係者參列、村田聯合分會長以下會員は堂を埋めて從軍會の老勇士が武勲を語る勲章を輝やかせて姿を見せたのは特に意義深きものを感ぜしめ一同聖戰下郷軍の使命達成に對する覺悟を固めた先づ宮城を遥拜、皇軍の武運長久祈願並に戰歿將兵の英靈に對して一分間默禱を捧げ國歌奉唱、勅諭勅語奉讀、村田聯合分會長式辭、瀧永支部長訓示、來賓祝辭あつて聖壽万歲を三唱し會歌を合唱して同十時半終了した

新竹神社で祈願祭

【新竹電話】台北―新竹、八十粁を走破せる不滅の御神火は十一日午後八時四十五分新竹神社に御安着、擇持者新竹市聯合青年團員より本社臺原支局長の手を通じ宮島社司より御神前の篝火に御移しされ、市內有志者多數參列の下に莊嚴なる夜中の祈願祭が執行された、不滅の御神火は神國日本の姿を象徵するが如く淸閑たる神殿を照し宮島社司の朗々たる祝詞の中に主催者桑原支局長、一番ヶ瀬知事、淸水州議の玉串奉奠あつて同九時十五分神社御出發、直ちに台中へと聖なる繼走が續けられた

御神火は新竹市の奉仕團に引繼がれ賑やかげもも神々しく市內に入り官民、學校生徒兒童等總出の歡迎の中を走り豫定の如く午後八時四十五分新竹神社に到着、夕闇をこめて一入森嚴の氣漲つる同神社の大前で卅分間に亘り莊嚴な祈願祭が執行されたが御神火は息つく暇もなく同九時十五分台中へ向け一路南進を續けた

女青團も奉仕
二重埔と新莊の兩團

【臺北新竹州界にて塙使】新莊街道は皇紀二千六百年の紀元節を壽ぐかの如く日本晴れである、正午新莊街入りした御神火は黃金色の稻田を兩側に眺めつつ二重埔を經てひた走りに走り、午後零時五十分早くも新莊街に到着した、水崎郡守を始め各團體、學校兒童等全街民の熱誠なる出迎へを受け、引繼を終り出發すれば期せずして万歲の聲が湧き上る、同郡下に入つてから二重埔、新莊兩女子青年團員が男子青年團に伍して御神火捧持の一役を買ひ、衛團に加はつて走る淸々しい姿こそ今度の聖火リレーの眺めであらう、御神火が悠久なる御光りを放つて進む

瑞芳神社に分火

【瑞芳電話】御神火を捧持し十一日午後二時基隆神社を出發した基隆青年團は基隆驛鉄私設道路を瑞芳に向ふ山路を縫つて繼走、同三時四十四分瑞芳街に到着、宮川街長を始め官民學校兒童その他諸團體多數の奉迎裡に一旦瑞芳神社に御神火を奉安して直に大村社掌以下衣冠を正して奉安式を嚴に執行、斯くて街民感激裡に瑞芳青年團は御神火を捧持して同五時二十九分瑞芳驛發列車で頭圍に向つた、同瑞芳神社では御神火の分火を受けて社頭に大篝火を點じ夜に入ると共に煌々たる聖火の輝きは一際小高い社殿より瑞芳街に隈り部落民は感激に浸つた

B組が再び受繼ぎ擇持して進發、幸町、高等女學校前、昭和町を通過して基隆驛鉄私設街道を一路瑞芳に向け進行した

宜蘭神社へ

【宜蘭電話】御神火は瑞芳青年團員に護られて十一日午後七時十分頭圍驛着、驛前に待機せる頭圍青年團に引繼がれ直ちに松明を捧げる衛團に護られて多數街民の打ち振る日の丸の提灯に送られて月夜の宜蘭街道を南進、途中二圍、礁溪、四結、宜蘭橋南端の四ヶ所にて夫々嚴肅裡に受繼が行はれた、同驛から宜蘭街大通に掛けて兩側は各團體、學校生徒、兒童、一般市民堵列して感激の聲を挿へて奉迎する、斯くて同九時二十分二六・五粁を走破して宜蘭神社に到着、御神火は奉仕青年團より宜蘭衛生に渡されるや、段て用意せる篝火に移されるや聖火は赤々と燃え立つて森嚴の氣神域に充つる裡に祈願祭は執行された

野村生命　東京　日本橋

台北消防組後援追善併催隠退興行　二十日三日十五日北座夜三回
女百万石
原作 八尋不二　演出 西原孝
日本婦道の眞髄を豊麗な色彩に描いた新興京都の豪華篇
鈴木澄子　森川信　高山廣子　阪東好太郎　園井ナミ子　松浦妙子　助女優總出演
若妻の夢
山路ふみ子主演
芳乃館　二十日封切

本日封切 正午開映 夜三回
松下村塾
高田稔主演・文部省企劃熱血篇　東寶新築地劇團合同
空想部落
大相撲日日五日間大會報
臺北消防組幹部追善並引退興行
東寶國際館

臺北消防組幹部追善並ニ引退興行
日活二大雄篇併映
うぐひす侍
片岡千惠藏主演
市川春代　澤村國太郎共演
あつたら時代劇 こんなに朗かでまいから
空の彼方へ
吉屋信子原作
花柳小菊　日暮里子　姫宮接子　伊澤一郎　大熱演
二月十二日ヨリ 四日間 正午ヨリ連續興行
白百合の巻
全館開放 均一料金
大世界

12日より四日間　臺北消防組幹部追善並引退興行特別番組
川崎弘子最初の殺陣
女次長
松竹京都超特作
原作 川口松太郎　演出 大曾根辰雄
川崎弘子・川浪良太郎主演
高松錦之助・山路義人・結城一郎助演
待望の女王川崎弘子の剣風颯爽た姿に實現
松竹大船純情篇
妻と戦争
細川俊夫・坪内美子・森川まさみ
タイゲキ

台灣肛門病院
台北市表町二ノ二〇
電話 二八八六番
院長 田村和城

日章印カーボン紙

榮光滿つる建國祭

長蛇の奉祝市民行進

【台中電話】記念すべき皇紀二千六百年の紀元の佳節を卜し台中市では十一日午前九時を期し市民各家庭に於て宮城遙拝を行ひ、同十時各官衙、学校、銀行、會社でも夫々遙拝式又は祝賀式を行つたが同十一時市内各小公学校児童約三千名の健児が手に手に日の丸の旗を振り翳し奉祝歌を高唱しつつ市内行進を行ひ驛上に奉祝氣分を漲らし同十一時三十分市國上段接場にて屋田知事、兩部長、安達院市尹初め市内主なる官衙長、民間有力者、各中学校生徒其他團體無慮一万人参集の下に建國祭祝典を挙行した、先づ開式の辞に續き國旗掲揚、宮城遙拝をなし紀元節頌歌を奉唱、安達院市尹の式辞朗讀、皇紀二千六百年奉祝頌歌合唱、天皇陛下万歳奉唱後正午過ぎ閉會した、一同はそれより台中神社に到り祈願祭を執行し盛儀裡に一日を送つた

嘉義市　奉祝愛馬行進

【嘉義電話】輝やかしき二千六百年の紀元節に方り嘉義市では十一日午前八時半より嘉義神社に於ける莊嚴なる紀元節祭執行後九時の國民奉祝時間には花火三發を合圖に全市民各所にて宮城遙拝をなし次いで十一時よりは公園球場に於て官民、各團體五千餘名集合の上盛大なる建國祭を挙行之を終つて直ちに市内大行進に移り正午驛前廣場にて解散、更に午後は一時より公會堂庭に奉祝武道大會、市中には愛馬大行進が繰展げられて全市を挙げて今日の佳き日を奉祝し午後九時盛りなく諸行事を終了した

奉祝武道大會

【新竹電話】新竹市に於ける紀元二千六百年の奉祝行事は午前八時半新竹神社に執行された紀元節の大祭が執行後、同九時には官公衙学校其他諸團體一齊に祝賀式を挙行、一般家庭に於ても同時刻に放送されたラヂオの國民奉祝の時間に宮城遙拝をなし十一時半には小学校校庭に全市民参集して盛大嚴粛な紀元節奉祝式を執行した、尚武徳會では午前九時より奉祝武道大會、午後一時よりは州警察棒林に新設の警務部相撲土俵開き、同一時半よりは市内学校生徒競竿の旗行列あり盛祭として紀元の佳節を寿いだ

屏東

【屏東電話】瑞風伏時に明けた屏東市の紀元節當日は朝來各戸國旗を掲げて祝意を表し午前八時半より阿緱神社に於て嚴かなる紀元節祭が執行され同十時には公園に於て官民及学校生徒、團體、一般市民等約八千名参列の下に盛大なる建國祭式典が挙行された、引續き参列者は大鼓を押立てて市内を練り廻つた、尚奉祝武術大會、乗馬行進競會等が各所で催され盛團の盛儀一入深きものがあつた

臺東

【台東電話】台東街の建國祭行事は午前九時國民奉祝時間から始まり花火を合圖に街民一齊に宮城遙拝を行つた、同時刻台東神社では紀元節祭が行はれ田頭郡長幣帛供進使とし參向各團體多數參拝した、各官衙では夫々祝賀式が行はれた午前十一時から街正午台東小公学校庭で建國祭式典挙行に移り祭典司會者赤松街長賀詞文を朗讀、[illegible]で万歳を奉唱して散會、小公学校児童は二千六百年の奉頌歌を高らかに歌ひつつ旗行列を為した引續き[illegible]は小学校校庭に於て勅諭奉讀式を行つた又同十一時半から台東郡公室に於て納税、國語普及、社會功勞者、勤儉者等の表彰式が行はれ正午閉會、午後からは愛馬の市中行進あり終日歡喜溢るる祝賀氣分が漲つた、尚台東街では二月中は特に銃後國民緊張を目的として四日から十日まで銃後緊張週間、十一日から十七日まで敬神崇祖順位向上週間、十八日から二十四日まで時局経済週間、十二日から十七日までラヂオ體操の會等を行ふ事になつて居る

花蓮港

【花蓮港電話】花蓮港街主催の紀元二千六百年建國祭は十一日午前十一時半花岡山公園に挙行、官民並市内各学校生徒約五千名参集、宮城及び橿原神宮遙拝ののち楠田街長賀詞文を朗讀次に國歌奉唱、紀元節奉祝歌並びに紀元二千六百年頌歌を奉唱、高原廳長の發聲で大日本帝國の万歳を三唱、正午式を閉ぢ引續き学校生徒の旗行列を挙行、中学校を先頭に高等女学校、女学校、小公学校児童凡そ千五百名奉頌唱歌たる喇叭を合圖に手に手に小國旗を振し市内を行進、花蓮港神社前で万歳を三唱し引返し花蓮港廳前に到り解散し、尚同夜に昭和會館で台北帝大後藤教授の"建國と日本精神"と高原廳長の"國民経済の道"と題する講演があり盛況であつた

馬公

【馬公電話】澎湖神社に於ける紀元節大祭は十一日午前八時二十分から今川廳長幣帛供進使となり官民及び各團體多數參列の下に嚴粛に執行され、次いで宮城遙拝、三浦街長の發聲で帝國万歳を三唱して散會、同十一時三十分よりは馬公街主催の建國祭が公會堂前に於て催されたが、同所には官民多數が參列し、三浦街長は大理想顯現に邁進するの決意を宣誓し、同四十分からは公會堂で祝賀式が行はれ、高橋馬公要港部司令官、小松要港司令官、松崎海軍參謀長以下幕僚、山脇陸軍部隊長以下陸軍部、各官衙長、街有力者その他官民多數出席して之又盛大であつた、尚澎湖神社及び澎湖廳を初め諸官衙、各學校等では午前十時より夫々奉祝式が行はれた

中壢

【中壢電話】光輝ある紀元二千六百年の紀元節に當り中壢街では午前八時半より中壢神社にて官民多數參列の下に紀元節祭を執行し同九時四十分嚴粛裡に終了した、尚は小公学校児童及國民學校生徒の奉祝旗行列が街内を練り廻つた、又午後一時からは郡馬匹愛會主催で郡下より六十餘頭の馬を集め桃園郡守を先導に新屋まで堂々愛馬大行進を挙行して馬匹愛護並に奉祝の意を表し夜は官民合同の奉祝提燈行列が盛大に行はれた

坎頭厝公記念式

【中壢電話】中壢郡坎頭厝公學校では光輝ある紀元二千六百年を奉祝しまた同校は本年恰も創立二十周年に相當するので其の創立記念式を九日午前十時より同校に於て官民及卒業生等多數參列の下に盛大に擧行、學校長の式辭、祝辭披露等あつて來賓、卒業生等の祝辭、祝電披露後奉祝兒童學藝會及展覽會も開催し當日は多數の觀覽者あり非常に盛況であつた

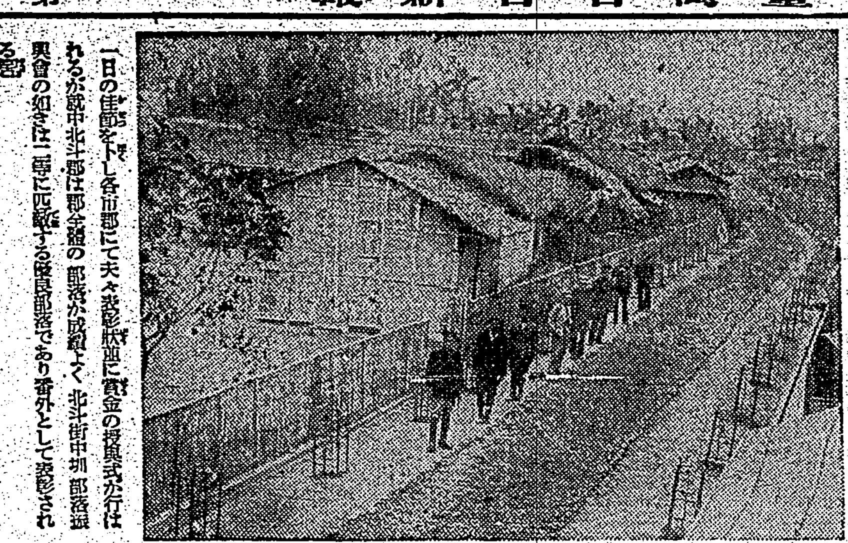
出役賃四十萬圓

玉里郡民が總出動して

道路開鑿の後、制水工事に奉仕

花蓮港廳下玉里郡下六千戸の住民は新開路並に舊道路其他産業道路の開鑿並に補修改修工事に出役し出役延勞力、牛車、自動車等の運搬出役等を換算するときは金額四十万円に上つており同郡下道路品評會に於ては玉里郡道路協會は優勝旗を獲得したのであるがこの蔭の的努力出役の成果は地方産業の開發交通運輸の上に齎したる功績は寔に多大なるものだ又一面豪雨より惹起された秀姑巒溪制水堤工事に對しても能く各堤防附近の部落の保甲民の指導に依り毎日少くも三四百名多きは七八百名の義務出役をし為めに工事も大に進捗を見つつある

標語入りの幟を押立て途中馬は兵器に縋へよ愛せの慰問ビラを撒布し市内行進をなし同四時過ぎ解散した、尚その他の奉祝行事として午後一時より南門小学校にて郷軍市聯合分會の武術大會、夜は神宮外苑に於て映畫、音楽、舞踊の夕が催され終日賑つた



優良部落表彰

台中州に於ける二千六百年記念事業の一たる優良部落選奬會審査は各委員の嚴格なる審査の結果一等北斗郡田尾庄三十張犁部落興農會、二等大甲郡大甲街頂店同上、三等彰化市莿桐同上と決定、其の他各市郡一部落宛入賞十一日の佳節を卜し各市郡にて夫々表彰状並に賞金の授與式が行はれるが就中北斗郡は郡会議の部落が成績よく北斗街中圳部落振興會の如きは二等に匹敵する優良部落であり番外として表彰される筈

榮ある奉仕者

台中州下に於ける御神火奉納走に奉仕する擔持者及指揮者は左の通り

第一區簡樹東(指)蔡阿河、第三區許啓二(指)陳文發、第四區張國男(指)許清水、第五區林永鉗(指)張明樹、第六區潘桂珍(指)林振樹、第七區西岡呈之(指)林伯鋼、第八區甲斐文二(指)許志武、第九區劉良源(指)李發明、第一〇區石田久(指)陳富源、第一一區陳德生(指)陳瑞乃、第一二區橋本三太郎(指)游木生、第一三區松本重(指)林宗安、第一四區劉谷猶(指)盧春恒、第一五區長岡喜作(指)吳清、第一六區石田長男(指)施長恭、第一七區梅木末春(指)林蔡衆、第一八區吳孝二(指)溫清賢、第一九區林金池(指)楊慶士外四名、第二〇區沈顯(指)謝潮興、第二一區石橋兎三郎(指)陳錫添、第二二區赤崎乗雄(指)林李商、第二三區牧渕松雄(指)陳翔彬、第二四區南一雄(指)邱林草、第二五區用滲治雄(指)林万興、第二六區眞松公刀(指)飛田啓勇、第二七區村山清巌(指)王文程

澎湖廳下に於ける御神火奉納走奉仕者は左の如し

△第一區 椎原乘政(指)陳爛家、張翻賢、陳錦榮、謝博群

△第二區 有馬政重(指)鮑國盛、許渭心、呂再旺、呂文章

聖火・あす臺南へ

臺南開山兩神社で奉納祈願祭

【台南電話】紀元の佳節を卜し台北を起點として走破される台南州下の御神火は愈よ十二日午前十時四十分台南神社に御到着の豫定である、當日は石井知事、國盛市尹を始め官民有力者多數參列の上嚴粛盛大なる奉納祈願祭が執行されるが各神社への御分火は右祈願祭終了直後行ふことになつてをり、特に台南神社では一般市民のため御分火希望者に頒賜することとなつた

御下賜金傳達式

【高雄電話】十二日皇紀二千六百年の紀元の佳節に當り畏き邊りより社會事業奨勵の御思召に依り高雄州下社會事業團體に對し夫々金一封御下賜があつたので同州に於ては四日午前十時四十分より知事公室に於て部長列席の上傳達式を挙行した、赤堀知事より各團體に傳達あり終つて一場の訓示を與へ御下賜の光榮に浴した團體左の通り

高雄天主公教會抑光院、財團法人[illegible]

御下賜金傳達式

【台中電話】台中州にては今回畏き邊りから左の社會事業團體に對し御下賜金を賜つたので十一日午前十一時より正廳に於て傳達式を執行した

財團法人台中州方面委員助成會、財團法人彰化慈惠院、財團法人台中慈惠院、北斗郡トラホーム治療會、東本願寺慈光會

尚右に引續き台中州社會事業助成會から台中市方面、貧助成會に交附された助成金の傳達式が行はれた

獻火祈願祭

【宜蘭電話】宜蘭神社では十一日午前八時半から紀元二千六百年奉祝大祭を嚴かに執行、竹中郡守、渡口街長以下各官衙、学校、團體の代表者、州議、街庄協議會員等官民多數參列の中を川村知事は幣帛供進使として參向、祭典は型の如く執行され續いて玉串を奉り次いで知事以下各代表者の玉串奉奠あつて同九時半滯りなく終了した、宜蘭街では輝く皇紀二千六百年を奉祝する為め十一日午前十時から公園廣場に於て盛大に建國祭を挙行、各官衙、團體等多數參列の下に宮口宜蘭郡守は力強く宣言文を朗讀、川村

愛馬市中行進

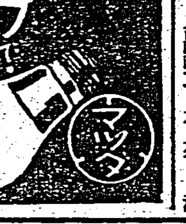
【台南電話】州愛馬會では井上部長、台南商工會、荷馬車組合其他團體の協力を得て紀元二千六百年奉祝大祭を奉祝すると共に馬事思想の普及を兼ねて十一日愛馬大行進を實施した、參加馬匹百頭は台南競馬場に集合の上同一時半より行進を開始し大隊音樂隊を先頭に馬政局出張所その他の乘馬、荷馬車、軍馬、農馬及び台南州農業學校の一隊は台南神社に參拝しそれより

臺南

【台南電話】紀元二千六百年紀元節の佳き日を迎へ午前八時半から石井知事幣帛供進使として台南神社に參向紀元節祭典を執行した台南市の奉祝建國祭は午前十一時三十分市内練兵場に於て舉行された学生、生徒、青年團、官衙、銀行、會社、愛婦、國婦、勤行報國青年隊その他の團體無慮三万の市民が参集し宮城遙拝に次いで國歌奉唱、石井知事の式辭、皇軍の武運長久と戰歿勇士の英靈に黙禱、國盛市尹の宣言文朗讀、奉祝歌合唱、萬歳を奉唱の後、一同は奏樂隊の奏する二千六百年頌歌に和しつつ武裝學生隊を先頭に市内目拔通りを一巡台南神社に參拝万歲を三唱午後一時半解散した

高雄

【高雄電話】高雄市に於ける皇紀二千六百年紀元節奉祝行事は十一日午前八時より高雄神社に於て官民多數參列の下に紀元節祭典を執行、引續き同九時より奉祝建國祭典を挙行し、市内各官衙其他各團體約二万人にて行進隊を組織し市内主要道路を奉祝歌も高らかに大行進を行ひ州廳前に到り万歳を奉唱し午後三時頃解散した、夜は映畫、講演等の催し物あり此の日一日は全市民を挙げて奉祝した



萬なかだち
求職一件一回 壹圓貳拾錢
其他一回 壹圓七拾錢
菓子職人 熟練者入用 電四〇三番 朝日堂
配達監督 入用内地人保證人を要す 電二〇〇八 牧場
京染 御染替品好み柄御上昇 電七五四二
女店員入用 内地人本人來談 電三三五四 朝日堂
修正技師 一名至急入用 寫眞館
看護婦 至急入用本人來談 末廣町 後井醫院
貸家 六四平 羽深

疲れ過ぎる主婦

榮養を低下させるな

潜伏疾患の發病や早老の原因となる

保健衛生上の諸問題も、一般男子の勤め人や職業婦人に就ては相當論じられてゐるやうですが、旺盛の世帯――家庭の原動力たる主婦の勞働には自他共に案外に忘れられてゐる傾向があります。數人の女中に家事の一切を任せてのうのうとして居られる御身分の家庭ならいざ知らず、我が國の主婦は炊事洗濯は勿論、嫁姑、夫や家人の身の廻り世話など、凡そ

家庭内の作業の全部を一手に引き受けてしなければなりません。一口に家庭の雑務と片付けて了ひますが、仲々どうしてこれが會社で働く御主人の勞働量と何の遜色もなく、多人數の大世帶などでは遙かにそれの數倍にも及ぶ場合があります。此れについてはランクワージ氏の興味ある研究があります。エネルギー測定の實驗によると、編み物、裁縫などは洗濯、アイロンかけ、掃除などよりエネルギーの消耗は少く、ミシンを用ふる時は手縫ひよりも多くエネルギーを消費する、最も多く消耗するのは洗濯と掃除ですが、更に赤ん坊の襁褓を取替へるだけに裁縫の七倍ものエネルギーを要するのです。つまり體重七〇瓩の人が

激烈な大工作業を一時間續けるには二七〇カロリーの熱量を要するが、激しい家事の雜務の場合には二〇〇カロリーを要し、一時間六哩の速さで歩き續けるのと同等の疲勞を覺ゆるのです。それ程の激務にも係はらず、他の家人に比し粗食だとか又は睡眠不足等の傾向があり、田舎等に行くと主婦は稍もすれば此れが常識的になつて年齢の割には老けて見えたり容色も衰へるし、老い込んだりするのです。その際に"錠劑わかもと"のやうな薬を服んで失はれた榮養を速かに補給すればよいのですが、病氣にでもならぬ限り、主婦は寢付く暇も無い位に忙しい、揚句の果は潜伏してゐた病氣が活動し始めるので、今度こそは枕も上らぬ病床で長年月の

休養を餘儀なくさ

れる事になるのです。疲れ易いとか寢つき惡い等の些細な事を忽にすべきで、無理、不摂生を嚴禁すると共に前記の錠劑わかもとの服用を缺かさぬ様にして下さい。此の薬はヘーフエ菌及びアスペルギルス菌といふ微生物の集積體で豐富なビタミンB、アミノ酸、グリコーゲン、蛋白、脂肪等およそ人間の必要とする榮養素を特殊製法により濃縮製錠したもので、特長は其等の榮養分子が腸内の細胞膜内に深達して行つて衰弱した諸組織を蘇活させるので、此れを細胞原形質賦活作用といひますが此の結果治病と榮養向上といふ一石二鳥の效果が挙がり、從つて體質も強化されるといふ譯です。藥價は一日數錢にしか當らぬ廉價で全國藥店にあります。（寫眞は顧問醫學博士岡部卓也氏）

救急箱

急に發熱した場合

▼突然三十八度以上四十度近くの發熱した場合は先づ次の病氣を疑つて見なければならぬ▼呼吸器疾患では、扁桃腺炎、ヂフテリヤ、流感、急性氣管支カタル、急性肺炎など▼頭痛、腰痛、嘔吐、呼吸困難の徴候あれば、ヂフテリヤ、腦炎、肋膜炎を警戒すべし▼小児の場合、發熱、嘔吐、下痢あれば疫痢、胃腸からの發熱▼解熱劑は濫用すべからず▼水又は水嚢で頭を冷すこと、幼児には水枕か濡れ手拭がよろしく▼熱の為に咽喉が渇く時は、番茶、麦湯、薄い梅酒を少量與へる▼同時に錠劑わかもとを與へれば胃腸機能を旺盛にして疲勞を恢復する效があるから忘れてはならぬ。

河豚料理人の死

P・Q・R

（醫者の隨筆）

◆…醫者を困らせる患者にも種々あると百態がある。煩ない程醫者の云ふ事を信用してくれないのや、神経性の患者で薬に對して極端な餘り一種の恐怖觀念が起つて薬を全然服まないのもある。あれこれとクリーニング屋でも取替へるやうに、醫者から醫者へ渡り歩く浮氣者も居るし、世智辛い所では、大病院と違つて普通の商店のやうにヅケヅケと醫療費を請求しない開業醫のお上品さに付け込んで、掛つたが最後音沙汰の無くなる手合さんもその内に算へておかう。結核患者などで、聽診器を胸に當てると、ラッセルが聞えると云はれやしないかと心配の餘り、脈が速くなつたり熱を出したりするのも苦手の一つである。

◆…Mと云ふ名うての河豚料理人があつた。「あつしの庖丁にかかつちや河豚なんて絶對に中りつこはありませんや」と威張つてゐたが、或る宴席でいつもの自慢の庖丁を振つてから、殘り物の雜炊や何かを煮て舌鼓を打つたが、不図もそれに中毒して了つた。それ醫者よ藥よ、と家人が騒いだが本人は苦しみながらも「なあに、俺の料理に金輪際間違ひはない、此りやタダの食當りだ」と頑張つてどうにも醫者を迎へさせなかつたので結局Mは自家中毒して死んで了つた。健康な間ならともかく、病氣になれば素直に醫療を受くべしである。

◆…投薬の度に「此の薬は何んと云ふのか」「何う效くのか」と一々説明を求めなければ氣の濟まぬ富豪のH氏。肥滿型で頑固な常習便秘で悩み拔いた揚句「此の頃評判の錠劑わかもとを服んで見やうと思ふがどうか」と來たので「あれはいい、ビタミンBが豐富にあるしグリコーゲンだとかアミノ酸、蛋白、脂肪などの榮養素も澤山あるから便秘や胃腸疾患には最適だ、是非お服みなさい」と奬めておいた。其の後或る宴席で顔を合はすと「やあ、ありや實に好いですよ。廿五日分が一円六十錢なんて一日當り數錢で餘り安過ぎると思つたが、あんなに効くとは思はなかつた、今も斯うやつて服むんぢやない、食つてるんですよ」とポケットから錠劑を出してパリパリ「此の中のフラビンと云ふのが酒毒を消すんですね、此れをやつてると不思議に悪醉ひしない、貴方もやつて御覧なさい」とすつかりお株を奪られちまつた格好。

◆…病氣を癒すのは醫者の問題で、健康な間はともかく、一旦病氣になればおとなしく醫者の言を守ること、薬を服むことである。錠劑わかもとは成分がヘーフエ菌とアスペルギルス菌と云ふ微生物の集積體であるから、化學製劑と違つて副作用は少しもないばかりか、結核性疾患、胃腸等の病氣が癒つて而も榮養充實するのだから大したものだ。

◆…七分搗き米は既に巷間にも説かれてゐるやうに白米よりは消化率がよろしくない、國策米を食つて胃病患者が殖えれば、流行らぬ醫者は政府へ感謝の付け届けをしなくてはなるまいが、錠劑わかもとある限りそんな具合には先づ起らぬ。流行つて困るのが坊主と醫者だが、その醫療制度の發達した國ほど文明先進國だと云ふのがせめてもの我々への慰籍か。

◆床上げに[illegible]の寒さが身に泌みる

不健康地帯

漫談家　徳川夢聲

漫談家―俳優―――そして作家の仲間入りをしてゐる僕は、日本一の不健康生活をしてゐるといつて差支へない。といふと「それは君の環境や職業から來てゐるよ、アダリンを酒の肴に、ウイスキーなんか呷るといふ世界一の無軌道ぶりが、君の健康をムシバンでゐるんだよ！」と誰でも云ふ。

×

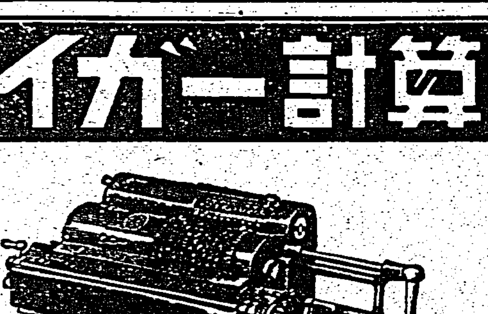
お説御尤もで、今まで幾度か死線を越えながら、よくも今日まで生きて來られたもんだと、吾ながらぞつとすることがある。

×

その非を悟つて、[illegible]なかなかフッツリ酒を止め、專らアイスウオーターで昔の惡友を向ふに廻して闘つとるんである。

×

しかし漫談家としては世間並の時間を強ひられ、俳優としては徹夜を、作家としては原稿の締切を強ひられ、三度の飯を人間並に食ふことの出來ない現在の僕は、勢ひ世界一でなくとも、依然日本一の不健康生活者たることに変りはない。

×

何の因果か、これも運命と諦めるより仕様がないが、せめて何かの助けを借りて、人並の健康を保ちたいと思つてゐたところ、女房が以前から「錠劑わかもと」の愛用者だつたので、食後の果物代りに、一粒二粒と彼女の方に手を出したのが動機で、この頃ではすつかり僕の方がファンになつてしまつた。結果が良いので女房と共に喜んでゐる。